

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和3 年度

市町村名	所沢市		
提案事業名	「(仮称)ところざわアートのミライ」開催事業		
事業期間	令和4 年度	～	年度
事業の必要性、目的	集客性の高い所沢駅周辺の複数会場で作品展を同時開催することで、所沢ゆかりの若手作家に対して作品発表の機会の提供という形で支援するとともに、市民に対しては気軽にアートに触れる機会を提供することで、若手作家への理解を深めるとともに、文化芸術の機運の醸成を図る。		
成果指標	(成果を検証する指標) 本事業に対する満足度		
	(成果検証の具体的な方法) 各会場にてアンケートを実施する。		
	(上記の指標を設定した理由) 来場者アンケートを実施することにより、作品展の満足度を把握できるだけでなく、気に入った作品や作家等についても統計が得られることから、次年度以降の本事業の参考となるため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (年月現在)	目標値 (5年3月時点)	満足度(満足・やや満足) 80%以上
	(施設建設等の場合)		
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	事業終了後、アンケート集計結果(主に満足度)をHPにて公表する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和4年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 「(仮称)ところざわアートのミライ」開催事業	当該事業は1事業のみであるため、概要・成果指標との関連性は上記に記載のとおり。	2,570
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
合計		2,570

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	通常のアート展などと違い、集客性の高い施設で不特定多数の人々を対象としているため、普段あまりアートに関心の無い人や子供でも気軽に楽しめるように、例えば来場者が作品を作り上げるコーナーの設置やスタンプラリーの実施など参加型の企画を検討し、実施していく。
成果指標の達成見込み	令和2年度開催の「ところざわアートの潮流」での来場者アンケートにおいては満足度が約80%であった。普段あまりアートに関心の無い人の来場も多くなると予想されるため、アートの潮流よりも、気軽にアートを楽しむことに重点を置き、より多くの人を楽しめる企画にすることで達成可能であると考え。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。